

廃棄物処理施設における放射能測定結果【H30年3月測定分】

一関地区広域行政組合では、廃棄物処理施設において、放射能濃度測定を実施しました。測定結果は、以下のとおりです。

測定値の単位：主灰・飛灰・不燃物・脱水汚泥【Bq/kg】

施設名	測定項目	採取月日	セシウム 134測定値	セシウム 137測定値	セシウム 合計値
一関清掃センター ごみ焼却施設	主灰	H30年3月 9日	不検出	32	32
	飛灰	H30年3月 9日	33	280	313
大東清掃センター ごみ焼却施設	不燃物等	H 30年 3月 7日	20	260	280
		H 30年 3月 14日	21	220	241
		H 30年 3月 20日	15	150	165
		H 30年3 月26 日	16	170	186
	飛灰	H 30年 3月 7日	68	690	758
		H 30年 3月 14日	100	900	1000
		H 30年 3月 20日	61	570	631
		H 30年 3月26 日	68	680	748
一関清掃センター し尿処理施設	脱水汚泥	測定なし			
川崎清掃センター し尿処理施設	脱水汚泥	測定なし			

・一関清掃センター、川崎清掃センターの脱水汚泥は年4回測定します。

測定値の単位:【Bq/L】

施設名	測定項目	採取月日	セシウム 134測定値	セシウム 137測定値	検出下限値 (134/137)
舞川清掃センター 最終処分場	放流水	H 30年 3月 6日	不検出	不検出	1.5/1.6
	上流井戸	H 30年 3月 6日	不検出	不検出	1.5/1.5
	下流井戸	H 30年 3月 6日	不検出	不検出	1.1/1.5
東山清掃センター 最終処分場	放流水	H 30年 3月 8日	不検出	不検出	1.5/1.4
	地下水 上流	H 30年 3月 8日	不検出	不検出	1.1/1.4
	地下水 下流	H 30年 3月 8日	不検出	不検出	0.9/1.6

- ・「不検出」とは、検出下限値未満であることを示します。
- ・飛灰とは、排ガス中に同伴されているチリ(ばいじんダスト)をバグフィルターなどの集塵装置で捕集した固形物です。

測定値の単位:排ガス【Bq/m³(N)】

施設名	測定項目	採取月日	セシウム 134測定値	セシウム 137測定値	検出下限値 (134/137)
一関清掃センター ごみ焼却施設	1号炉(ろ紙部)	H30年3月15日	不検出	不検出	0.10/0.07
	1号炉(ドレン部)		不検出	不検出	0.32/0.34
	2号炉(ろ紙部)	H30年3月16日	不検出	不検出	0.10/0.10
	2号炉(ドレン部)		不検出	不検出	0.30/0.34
大東清掃センター ごみ焼却施設	1号炉(ろ紙部)	H30年3月20日	不検出	不検出	0.13/0.13
	1号炉(ドレン部)		不検出	不検出	0.45/0.39
	2号炉(ろ紙部)	H30年3月6日	不検出	不検出	0.13/0.14
	2号炉(ドレン部)		不検出	不検出	0.32/0.45
	2号炉(ろ紙部)	H30年3月13日	不検出	不検出	0.15/0.13
	2号炉(ドレン部)		不検出	不検出	0.52/0.54

廃棄物処理施設における空間線量率測定結果【H30年3月測定分】

一関地区広域行政組合では、廃棄物処理施設において、空間線量率測定を実施しました。
測定結果は、以下のとおりです。

測定値の単位:排ガス【Bq/m³(N)】

施設名	測定場所	測定月日	測定値(地上1m)	備考
一関清掃センター	施設内8地点	H30年 3月 1日 ～H30年3月29日	0.06～0.07	施設敷地境界 及びバググラウンド
大東清掃センター	施設内4地点	H30年 3月 6日 ～H30年3月27日	0.05～0.08	施設敷地境界
舞川清掃センター	施設内7地点	H30年 3月 1日 ～H30年3月29日	0.05～0.08	仮置き場と敷地 境界及びゲート ボール場
東山清掃センター	施設内5地点	H30年 3月 6日 ～H30年3月27日	0.04～0.08	施設敷地境界 及び埋立場所

- ・測定値は、測定地点ごとに30秒間隔で5回測定した平均をとり、その最小値から最大値をまとめたものです。
- ・空間線量率測定は、1週間に1回の測定です。
- ・一関清掃センターと舞川清掃センターでは、H24年9月測定分からエネルギー補償機能付きの放射能測定器を使用しているため数値が以前と比べて低くなりました。